

第9款 消防費

項1 消防費

主要データ

① 火災発生件数の推移

区分	平成18年	平成17年	平成16年
火災発生件数	22 件	23 件	27 件
うち建物火災	14 件	10 件	13 件

② 救急車出動件数の推移

区分	平成18年	平成17年	平成16年
救急車出動件数	2,069 件	2,029 件	2,021 件

目1 常備消防費

1 消防本部署活動経費

予算額	40,805	決算額	37,775
-----	--------	-----	--------

① 防火管理体制の強化

・地域住民と事業所等の連携による防火管理体制の強化に努めた。

消防訓練の実施 171回 14,076人参加

② 防火思想の普及

・市民の防火、防災意識の高揚を図るための講習会や広報活動を強化するとともに地域、事業所の火災予防の普及啓発に努めた。

防火懇談会 9回 344人参加

防火映画上映 15回 1,392人参加

・事業所等における防火管理の知識、技術の向上を図るための防火管理講習会を実施した。

防火管理講習会 1回 59人参加

・住宅火災による死傷者数の低減を図るため「住宅用火災警報器」の義務化により住宅への設置普及に努めた。

③ 防火査察の徹底

・防火対象物の査察を実施し、火災予防上必要な指導に努めた。

指定防火対象物 2,717件 うち改善指導 102件

・危険物施設への立入検査を通じ技術水準の適合性について安全指導に努めた。

危険物施設 288件 うち改善指導 6件

・災害時要援護者を災害から守るため、一人暮らし等の高齢者査察を実施した。

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
高 齢 者 世 帯	3,033	2,486	4,024
緊急通報システム世帯	217	231	243

※高齢者世帯～75歳以上の夫婦及び70歳以上独居世帯

2 救急救命士養成経費

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	3,716	決算額	3,054
-----	-------	-----	-------

救急救命士は、救急車で現場に駆けつけ、心肺機能や脈拍が停止している状態の病人やけが人に対して、医師の指示を受け、気道の確保や心拍の回復など高度な応急処置を施す。救命率の向上に直結する処置を行う救急救命士を、救急車3台に常時搭乗することができる18名体制とした。

H18年度 1名派遣養成 H18年度末有資格者数 17名

3 消防用機器(空気呼吸器)購入費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	13,398	決算額	13,163
-----	--------	-----	--------

消防隊員の安全の確保と活動面の充実強化を図るため、空気呼吸器を更新した。(22セット)

4 自動体外式除細動器等購入費

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	580	決算額	570
-----	-----	-----	-----

救命率の向上を図るため、自動体外式除細動器を購入し支署に配置した。救急車が出動中で、直ぐに現場に到着できない時に、消防車等で現場に駆けつけ傷病者の救命処置を行う。

また、市民を対象に、自動体外式除細動器の使用方法を含む心肺蘇生法の知識及び技術を普及するため、自動体外式除細動器訓練用資器材を購入した。

目2 非常備消防費

1 消防団運営経費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	21,319	決算額	18,258
-----	--------	-----	--------

○団員数の推移

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度	平成15年度
消防団条例による団員定数	191	191	191	191
団員数(年度末現在)	135	142	153	165
うち女性団員数	11	10	10	10
定員充足率(%)	70.6	74.3	80.1	86.3
平均年齢	43.1	43.2	43.0	45.8
入団者数	10	4	15	11
退団者数	17	15	27	10

※平成16年度から定年制(団長:70歳、団員:60歳など)を導入した。

○消防団活動にかかる出勤人数

区 分	平成18年度	平成17年度	平成16年度
火 災	171	140	307
訓練・警戒	2,178	2,502	2,477
行事・式典	146	116	119
計	2,495	2,758	2,903

女性団員も含め新団員の確保等、消防団の強化に努めたが、団員数の減少に歯止めをかけることができなかった。

目3 消防施設費

1 消火栓整備事業費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	4,551	決算額	4,297
-----	-------	-----	-------

消防水利の不足している地域に消火栓を新設するとともに、老朽化の著しい消火栓を更新した。

事業内容	10カ所	
全体数	消火栓数	541 カ所
	防火水槽	74 カ所

2 消防施設等維持補修費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	4,084	決算額	4,001
-----	-------	-----	-------

消防施設の安全衛生・効率的な業務の推進及び施設の延命を図るため維持補修を行った。

事業内容 消防施設等維持補修、消火栓修理